

Case Western Reserve 大学での再生医療研究

前田 亜希子

はじめに

私のアメリカでの医学研究生生活は、2001年にワシントン大学(シアトル)眼科学Krzysztof Palczewski (現Case Western Reserve 大学薬理学Chairman) 研ポスドクで始まり、現在はオハイオ州クリーブランドのCase Western Reserve 大学眼科学で研究室運営、医学部生を含めた学生教育に従事している。

本稿では、Case Western Reserve 大学(以下、CWRU)における再生医療研究の現状、アメリカにおける研究や研究者個人のあり方について紹介したい。

Case Western Reserve 大学とクリーブランドの紹介

クリーブランドは五大湖の1つ、エリー湖畔の人口100万人程度の中規模都市である。かつてはロックフェラーが石油業を起業し、鉄鋼業で栄えた全米第5の都市であった。ロックフェラーの遺産であるクリーブランド美術館、クリーブランドオーケストラなど、芸術都市としての魅力を現在も楽しむことができる。CWRU(写真1)は美術館、コンサートホールのあるUniversity Circleに位置し、全米でもトップクラスにランクされる総合大学である。医学研究部門の順位は

Maeda, Akiko

Ophthalmology and Visual Sciences, Case Western Reserve University

E-mail : aam19@case.edu

例年全米20位前後、昨年我々が眼科研究部門は3位という大変光栄な順位をいただいている。クリーブランドにはCWRUのすぐ隣に全米でも有名なCleveland Clinicがあり、特に心臓血管部門では10年連続全米1位を誇っている。この2つの機関がときには競争し、協力し、クリーブランドの高い医学、医療水準を維持している。アメリカで面白いと思うことはたくさんあるが、その1つとして、新しい施設をつくと優秀な人材が集まるということで、より優秀な学生に入学してもらうため、今年CWRUは新しい学生センターを建設し(写真2)、またCWRUとCleveland Clinicが共同で医学教育を行うための教育研究棟を建設中である。

Case Western Reserve 大学における再生医療研究

よい研究をするためには強い組織が必要であり、強



写真1